

結核なる鋼鐵とすべき職の設置であるが十五箇の不慮
 内部の鋼鐵を流失せしめたから職の性質を全く可成ならしめた
 其後職は職に引續き特殊勤務をして燃料を投入
 せしめつゝある程度にして今後燃料の投入を絶つとも牛管
 職は職せずと言へば特に之に暴行を演ぜざる限りは
 今後罷業を永續するとも交渉相手概らないと(電)

八日は全部休業

一日の損害額三十萬圓

八日朝入場せしむべき六千名の内七百名の
 入場を許したのみで他は休業せしめ所内機
 關部暨灰土場鑛爐等主要工場の業務に付
 かしむるのみにて他は引續き休業した今回
 の休業による一日の損害額は三十萬圓であ
 る(八幡電)

死の戦時状態

憲兵隊に固られた八幡
 軍隊の出動準備成る

八日晝で各工場の休止を打切
 る勢がつつたが形勢は不良の勢
 に同夜夜動作も休止するの已
 むなきに至つたが職も形勢は漸
 烈危急に起きつゝある爲に職
 隊司令官は毎時以四久留米同
 の各廠隊附屬憲兵の動員を仰じ
 八日午前十一時久留米分隊所屬

憲兵の一隊が來職し
 それに引續き各廠から出陣し來
 り八日午後の中甲雨中に起兵
 が眼を忍ませて徘徊し格も戦時
 状態の如くである又八幡廠隊の
 兵士は萬の場合に備ふべく出
 動の準備を成へてゐる(來電)

断じて復業せず

尼寺に隠れて同志友愛
 労友三派の幹部密議す

電報で 警署の通知を
 受けて居るが警署の火を流して
 るないから未だ不幸中の幸
 であらう(八幡電)

労友會の幹部

七名起訴さる

淺原西田正副長以下

八幡警署の左記七名は七
 日以来警署の取調を受けて居る
 たが八日遂に起訴された
 労友會長 淺原建三
 同副會長 西田健太郎
 同理事 青村喜澄、同島井直樹

七日美山御用取へ急何の取調
 下には八日午後三時十五分
 御用取車五時海御用取に送
 はされた(労連電話)

同安藤榮一 同層層芳一 同坂
 本尖
 何は本事件取調證據の爲め手
 關地方裁判所檢事久原富方地
 方裁判所檢事は急遽來職し自下
 方取調中である(八幡電)